

2020年9月期 第1四半期決算説明資料

2020年2月6日

Topics & Strategy

実績：2020年2月6日に2020年9月期第1四半期決算を発表。引き続き**前期を上回る業績**

方針：①IT技術をもって「**安心・安全・豊かな社会に貢献する会社**」を目指す
②(株)レスターホールディングスとの資本業務提携強化で、「**IT事業のエコシステム**」拡大

重点施策：半導体ソリューション、究極の**サイバーセキュリティ**、文教IT化支援、
世界基準のGPS端末、**エンベデッド技術**、**通信制御技術**

将来：IoT/IoE社会すなわち**Connected World**への**技術・サービス・ソリューションの提供**

戦略：①信頼性の高いソフトウェア技術の提供による**安定収益基盤を構築**
②**IoTソリューション**の提供・・・「**自動走行・自動運転・Connected Car**」、「**AI**」、
「**位置情報**」、「**画像認識**」
③「**M&A戦略**」によるグループの**規模拡大と事業ポートフォリオを充実**

PCIホールディングス株式会社
代表取締役社長 原口 直道



IR Movies

既存事業の好業績に加え、M&Aの寄与により引き続き企業規模の拡大を実行

<2018/9 連結売上高 >

通期実績： **14,493百万円**

(前期比27.2%増)

<2019/9 連結売上高 >

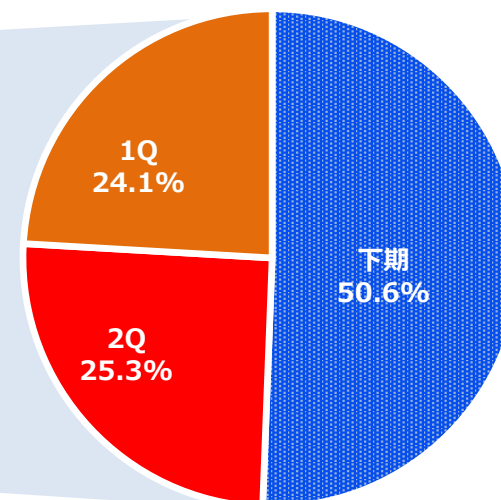
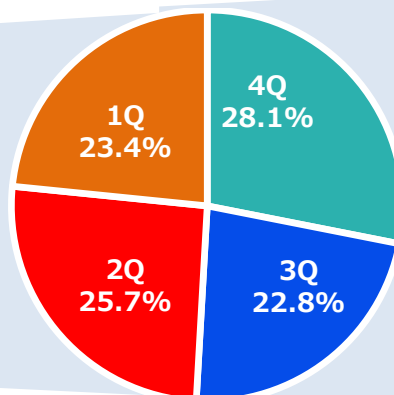
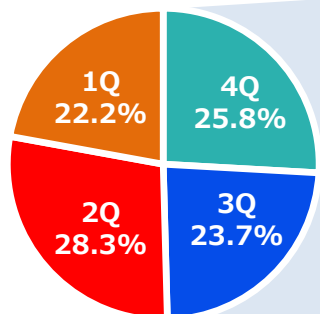
通期実績： **16,540百万円**

(前期比14.1%増)

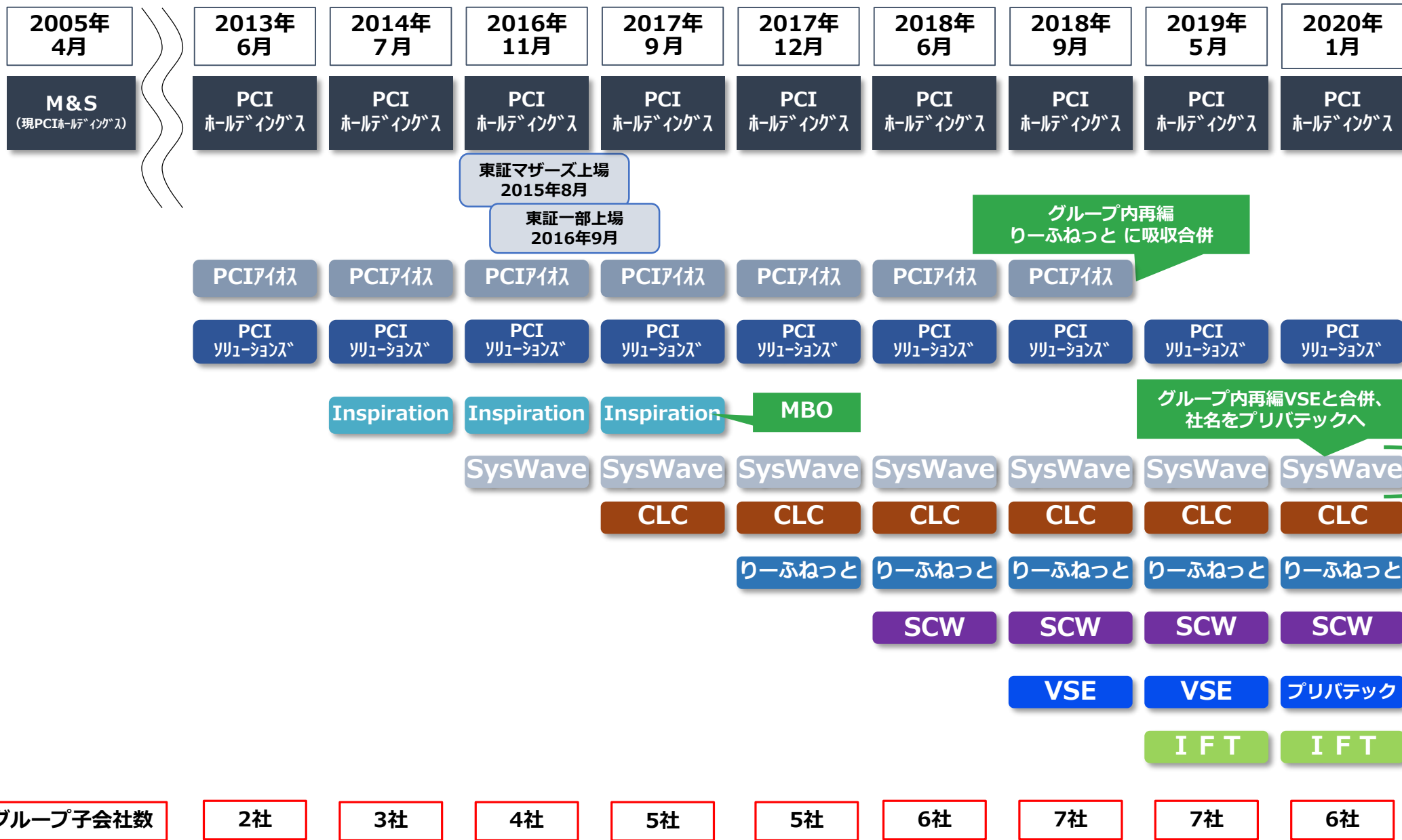
<2020/9 連結売上高 >

通期予想： **17,400百万円**

(前期比5.2%増)



グループ体制 ~沿革~



(単位：百万円)



期末子会社数	2社	3社	3社	3社	5社	7社	7社	M&A
期末従業員数	829名	842名	856名	870名	1,124名	1,195名	1,253名	積極採用



1. 決算概要	4 ページ
2. IoT/loEソリューション	11 ページ
3. 中期ターゲットと株主還元方針	17 ページ
4. 決算期末後のリリース	20 ページ
5. 参考資料	24 ページ

証券コード 3918
東証一部上場

PCIホールディングス株式会社

PCIグループ

- PCIソリューションズ株式会社
- 株式会社シー・エル・シー
- 株式会社リーふねっと
- Safer Connected World株式会社
- 株式会社プリバテック
- 株式会社インフィニテック



1. 決算概要



高付加価値サービスの提供に邁進すると共に、当社グループの成長戦略の柱であるIoT/IoEソリューション事業の規模拡大を図った。また、本格的なIoT社会の到来を見据え、情報セキュリティビジネスに注力する等、社会的課題の解決と「安心・安全・豊かな社会」を目指した事業展開を推進。

結果、売上高4,189百万円（前年同期比8.4%増）、営業利益144百万円（前年同期比33.7%増）と前期を上回り着地。

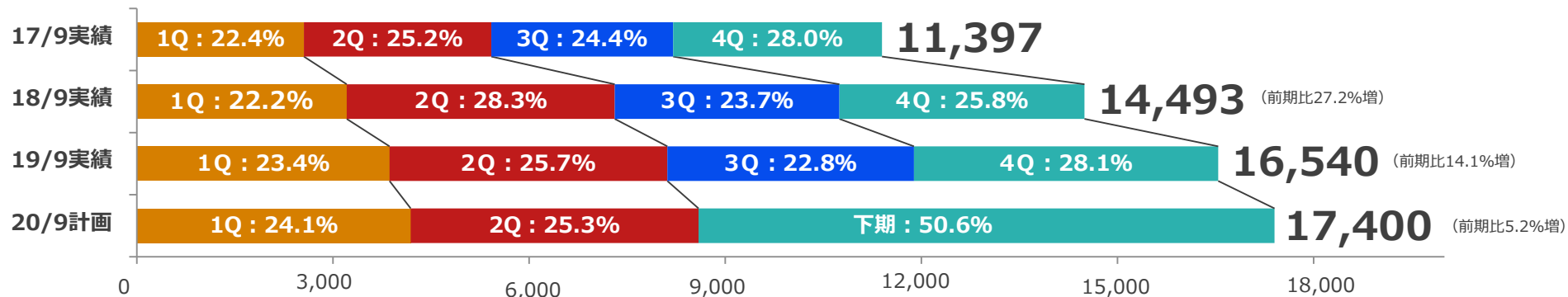
(百万円)	19年9月期 第1四半期 実績	20年9月期 (計画)				通期計画 進捗率
		第1四半期 実績	前年同期比増減	上期計画	通期計画	
売上高	3,866	4,189	108.4%	8,593	17,400	24.1%
売上総利益	932	1,070	114.9%	-	-	-
(売上総利益率)	24.1%	25.6%	1.5pt	-	-	-
営業利益	108	144	133.7%	452	880	16.4%
(営業利益率)	2.8%	3.5%	0.7pt	5.3%	5.1%	-
経常利益	115	156	135.4%	461	900	17.4%
(経常利益率)	3.0%	3.7%	0.7pt	5.4%	5.2%	-
親会社株主に帰属する当期純利益	52	121	232.9%	237	510	23.9%
(当期純利益率)	1.4%	2.9%	1.5pt	2.8%	2.9%	-

2020年9月期 第1四半期 業績推移 (サマリー)

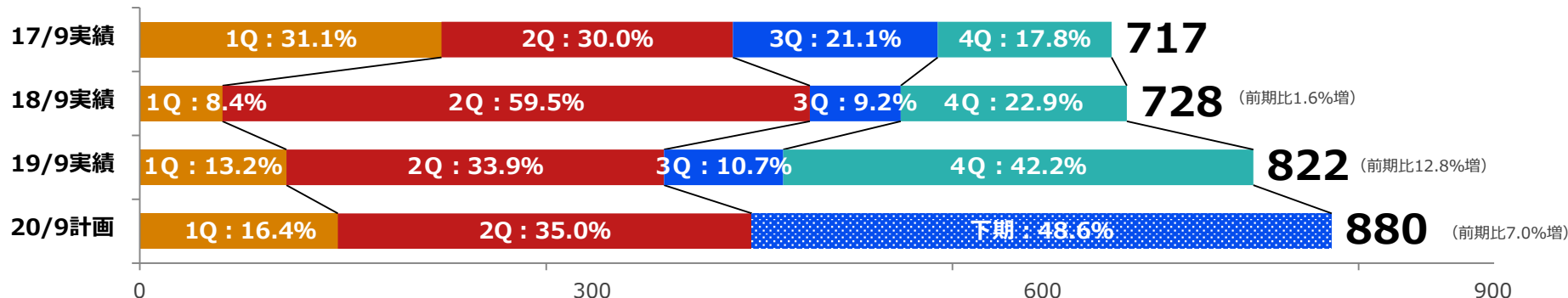


(単位：百万円)

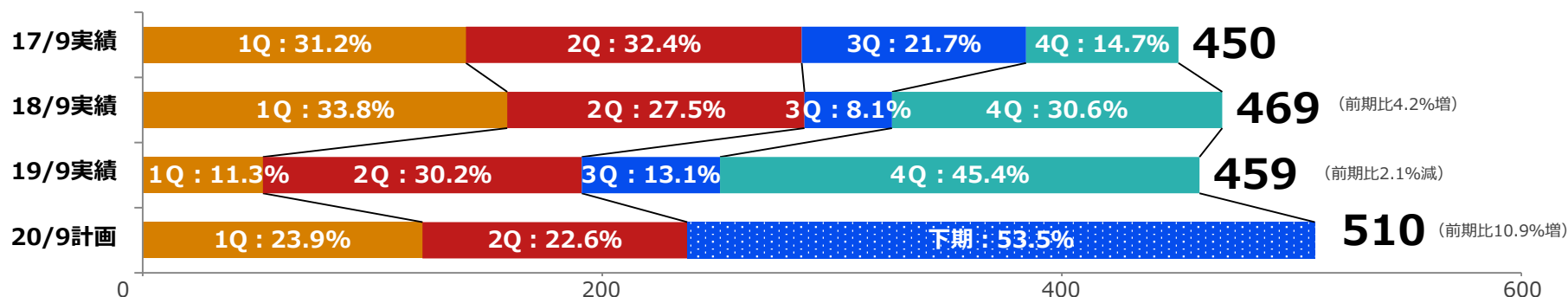
売上高



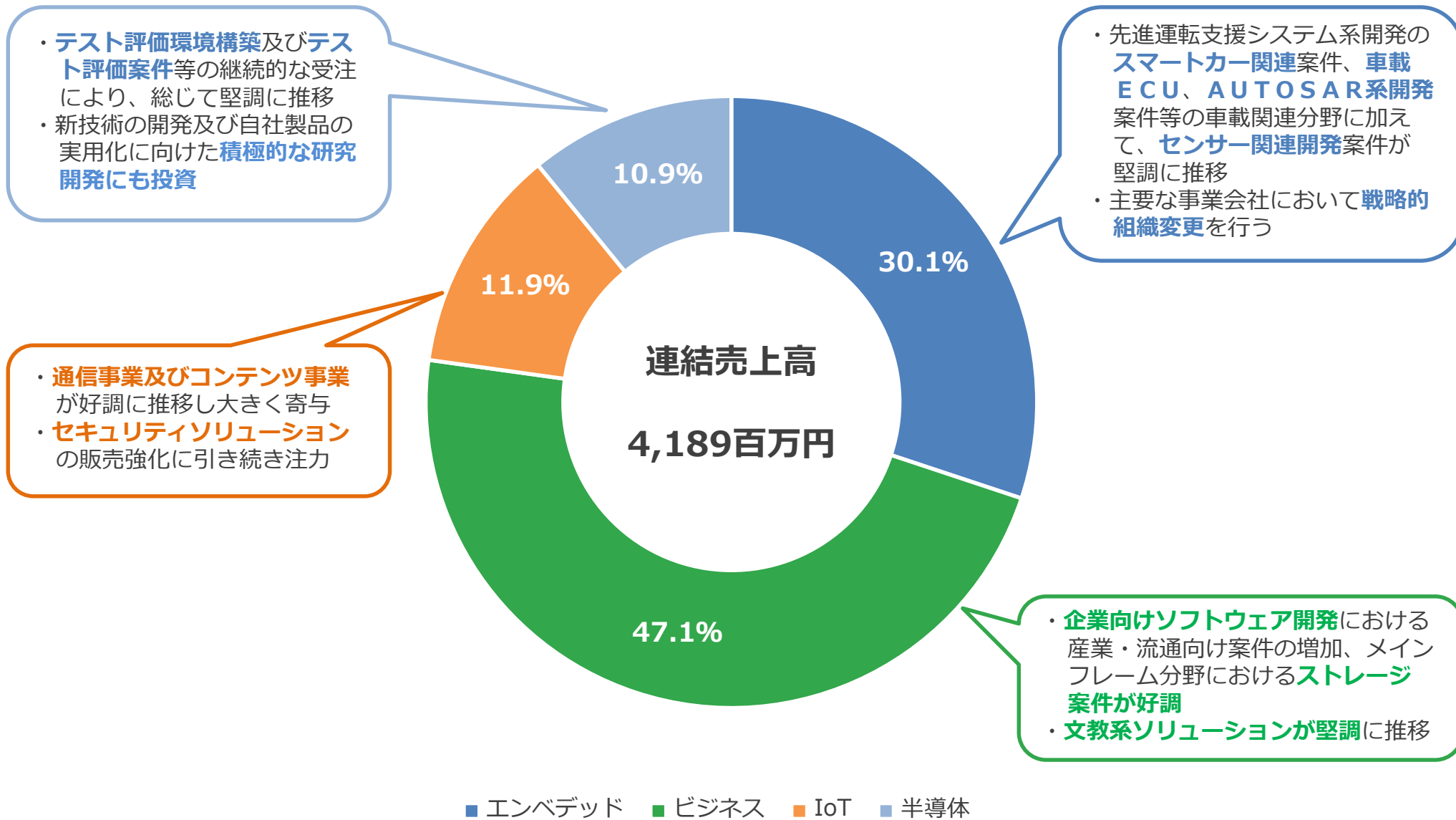
営業利益



当期純利益



IR Movies



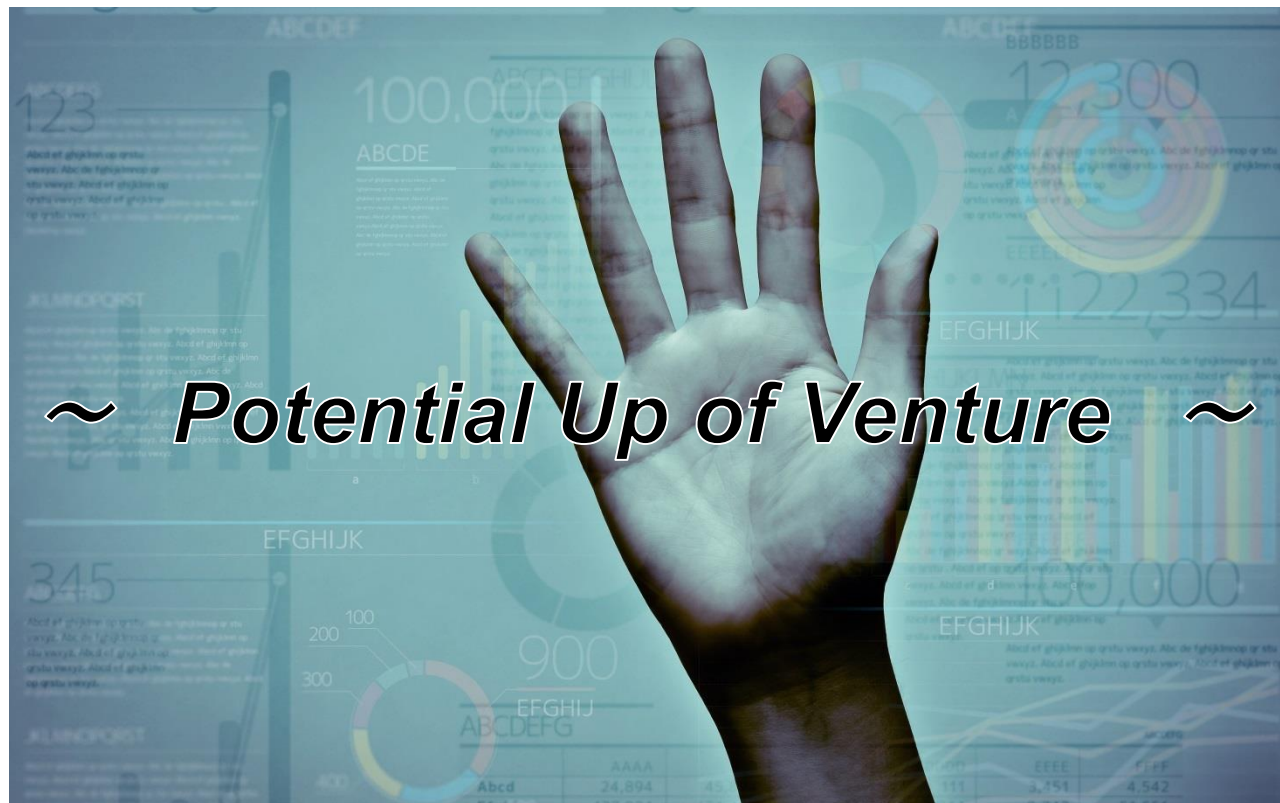
2020年9月期 第1四半期 連結損益計算書

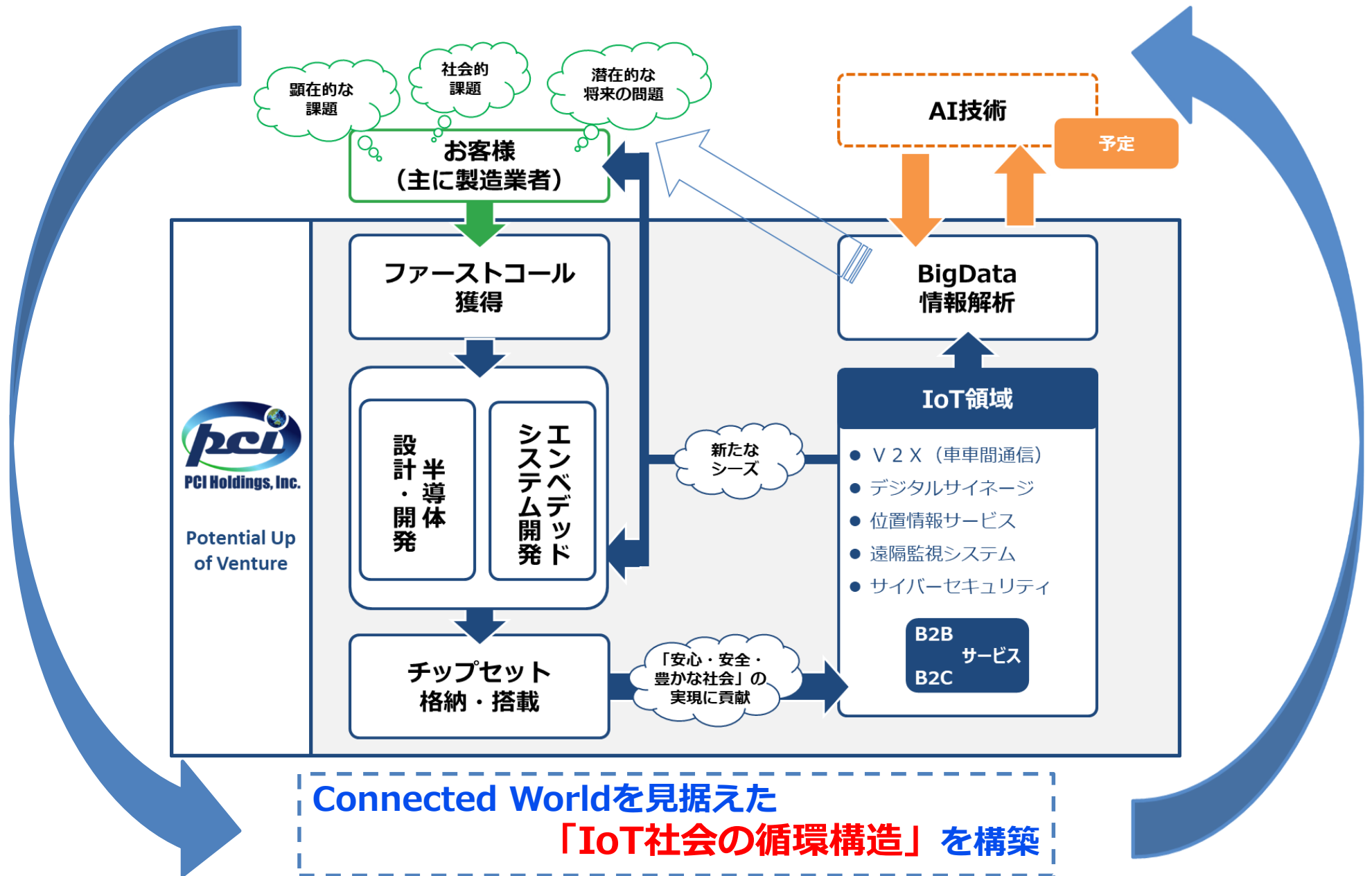


(百万円)	2019年9月期			2020年9月期		
	1Q	上期	通期	1Q	上期計画	通期計画
売上高	3,866	8,112	16,540	4,189	8,593	17,400
エンベデッドソリューション	1,304	2,747	5,581	1,262	—	—
ビジネスソリューション	1,696	3,555	7,132	1,971	—	—
IoT / IoE ソリューション	339	810	1,999	497	—	—
半導体トータルソリューション	526	999	1,828	457	—	—
売上原価	2,934	6,085	12,191	3,118	—	—
販管費	824	1,639	3,527	926	—	—
営業利益	108	387	822	144	452	880
経常利益	115	390	843	156	461	900
税前利益	114	340	805	157	—	—
法人税等	55	139	308	25	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	52	191	459	121	237	510

(百万円)	20年9月期 (計画)									19年9月期 (実績)
	上期	対前期比		下期	対前期比		通期	対前期比		
売上高	8,593	+480	(+5.9%)	8,807	+378	(+4.5%)	17,400	+859	(+5.2%)	16,540
売上総利益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4,349
(売上総利益率)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26.3%
営業利益	452	+64	(+16.8%)	428	▲7	(▲1.6%)	880	+57	(+7.0%)	822
(営業利益率)	5.3%	+0.5pt		4.9%	▲0.3pt		5.1%	+0.1pt		5.0%
経常利益	461	+70	(+18.1%)	439	▲14	(▲3.2%)	900	+56	(+6.7%)	843
(経常利益率)	5.4%	+0.6pt		5.0%	▲0.4pt		5.2%	+0.1pt		5.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	237	+45	(+24.0%)	273	+4	(+1.6%)	510	+50	(+10.9%)	459
(当期純利益率)	2.8%	+0.4pt		3.1%	▲0.1pt		2.9%	+0.1pt		2.8%

2. IoT/IoEソリューション





Connected Worldを見据えた
 「IoT社会の循環構造」を構築

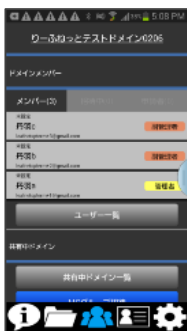
AEDリモート監視システム

公共性の高い製品なので、いざというとき「使えない」をなくすためAEDの電池残量やパッドの交換期限をリモートで監視するシステムを作成しました。
 電池残量の低下するとユーザーにアラート送り、常に使用可能な状態に保ちます。
 スマホアプリで、AEDの使用状況を簡単に取得できます。
 2010年に現在で言うIoTで提案した案件となります。



PC画面

スマホ画面



機器ID	設置名	管理者	設置場所	AED残量	AED期限
0001	山手区	山手区	山手区	100%	2020/01/01
0002	山手区	山手区	山手区	90%	2020/01/01
0003	山手区	山手区	山手区	80%	2020/01/01
0004	山手区	山手区	山手区	70%	2020/01/01
0005	山手区	山手区	山手区	60%	2020/01/01
0006	山手区	山手区	山手区	50%	2020/01/01
0007	山手区	山手区	山手区	40%	2020/01/01
0008	山手区	山手区	山手区	30%	2020/01/01
0009	山手区	山手区	山手区	20%	2020/01/01
0010	山手区	山手区	山手区	10%	2020/01/01

通信事業



『67コール』は0067で始まる番号に電話することにより様々なサービスを受けることができます。

例)



会員登録なしにプレゼント応募やアンケートに参加することができます。

※通話料課金が会員登録なしで可能なので、様々な利用シーンが考えられます。



- ・ **世界基準**のGPSトラッカー
- ・ 小型・軽量・高精度・高機能で長い電池寿命を誇る位置情報発信器
- ・ **世界中の携帯電話カバーエリアで作動**
- ・ 海外渡航時はローミング料金など加算されることなく利用可能



- ・ 当社グループが日本における **日本総代理店として販売**
- ・ 介護シューズ専門の（株）トレイルと業務提携し、**介護シューズに内蔵**



インフィテック社が展開する文教向けソリューション

- 文教向けソリューションに強みをもつ同社を2019年5月、当社グループ子会社化
- 文部科学省策定の「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画（2018～2022年度）」で、2018～2022年度まで単年度1,805億円の地方財政措置が講じられる。
- 自社プロダクト授業支援システム「Advantage Class」を行政と一体で販売。

Infinitec 授業支援機能を組み合わせて効果的な授業を実現！
※カタログの内容は暫定版となります。

Web版

AdvantageClass

×

デジタルスクールノート

Digital School Note

Server
 オンプレミスの同一サーバーに AdvantageClass と デジタルスクールノートの環境を構築します。

AdvantageClass × デジタルスクールノート

Advantage Class で 生徒端末を制御します。

ノート機能利用時は デジタルスクール ノートを利用します。

教師端末

生徒端末

© 2020 INFINITEC CO., LTD.



● Web版 AdvantageClass 機能一覧

機能	Windows(教師)	ChromeOS(教師)	iOS(教師)
画面送信	○	○	○
画面受信	○	○	○
比較分類	○	○	○
マーキング	○	○	○
ブラックアウト	○	○	○
アンケート	○	○	○
発表	○	○	○
電源制御	○※	×	×
アプリ起動制限	○※	×	×

※ Windowsは、アプリケーションをインストールすることで対応します。
 対応OS : Windows10、iOS、ChromeOS
 対応Webブラウザ: MicrosoftEdge、GoogleChrome、Safari

1人1台の端末環境に最適な高速無線アクセスポイント



各アクセスポイントの集約するコントローラーが不要

アクセスポイント同士を最大20台までホップ接続可能

最大200台接続が可能（2.4GHz：100台、5GHz：100台）

メッシュ接続時に、1台が故障しても瞬時にネットワーク経路を自動再構築します。

本カタログに記載されている製品やサービス名および会社名は、一般に各社の登録商標または商標です。仕様が外観は、予定であり予告なく変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。掲載の写真・図説はすべてイメージです。

株式会社インフィテック

東京本社 〒141-0033 東京都品川区西五反田2-12-19五反田Nビル3F
 TEL : 03-5759-6810 FAX : 03-5759-6820

0120-26-5134 E-mail : info@infinitec.co.jp



© 2020 INFINITEC CO., LTD.



平成30年度版 **準拠**
 内閣サイバーセキュリティセンター
 ガイドライン準拠製品！

革新は、違うカタチをしている。
APPGUARD
 BPw, reinventing Cybersecurity

サイバーセキュリティに対する脅威への対応が社会にとって共通の課題となっている今日、エンドポイントセキュリティ対策は、情報を扱う企業・個人の責務でもあります。様々なソフトウェア企業より、アンチウイルス、AI機械学習、振る舞い検知、EDRなど、それぞれの特徴をもった製品が市場で入手可能です。そのどのカテゴリにも属さない、セキュリティを超えセーフティを追い求める新概念の製品、AppGuardのご紹介です。

単体製品で準拠 APPGUARDとは

サイバーセキュリティ基本法に基づいて策定された「政府機関等の情報セキュリティ対策のための統一基準群」を解説するガイドラインが、内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）により2018年7月25日に発表されました。情報セキュリティ対策のための遵守事項として、「既知及び未知の不正プログラムの検知及びその実行の防止の機能」が含まれており、参照すべきガイドラインとして要約すると下記3点があげられています。

NISCガイドライン	APPGUARD
シングネチャにより検知する方式以外を採用しての未知の脅威への対策	シングネチャ（定義）ファイルに依存しません
OSのプロセスやメモリ、レジストリへの不正なアクセスや書き込みを監視し、不正プログラムの実行を防止・隔離	特許取得の隔離技術=Isolation Technologyにより、OSのプロセスやメモリ、レジストリへの不正アクセスを防止
端末への負荷の軽減	エンジンは1MB以下で軽量、定期的なスキャン/アップデートは不要です

標的型メール攻撃対策、ファイルレスマルウェア対策、ランサムウェア対策
 に絶大な効果を発揮する、まったく新しいエンドポイントセキュリティ製品！

AppGuard, AppGuardのロゴは米国法人AppGuard, Inc.、または株式会社Blue Planet-works及びその関連会社の、米国、日本またはその他の国における登録商標、または商標です。その他のすべての登録商標および商標はそれぞれの所有者に帰属します。その他の名称もそれぞれの所有者による商標である可能性があります。製品の仕様と価格は、都合により予告なしに変更することがあります。本文書の記載内容は、2018年8月現在のものです。

「AppGuard®」テクノロジーについて

<特 徴>

- ① **未知のマルウェアをブロック**
- ② **完全防御**
- ③ **20年以上破られたことのない実績**

<採用実績>

米国・州政府関連機関、米国特殊任務関連機関等

<主要株主>

ANAホールディングス株式会社、
 第一生命保険株式会社、
 損害保険ジャパン日本興亜株式会社、
 株式会社電通、株式会社電通国際情報サービス、
 大興電子通信株式会社、
PCIホールディングス株式会社、
 株式会社フェイス、株式会社ジェイティービー、
 吉本興業株式会社、他

2015年1月、内閣に「サイバーセキュリティ戦略本部」が設置され、同時に、内閣官房に「内閣サイバーセキュリティセンター（NISC=National center of Incident readiness and Strategy for Cybersecurity）」が設置。サイバーセキュリティ政策に関する総合調整を行いつつ、「自由、公正かつ安全なサイバー空間」の創出に向け、官民一体となって様々な活動に取り組んでいる。
 内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）Webサイトより抜粋



3. 中期ターゲットと株主還元方針

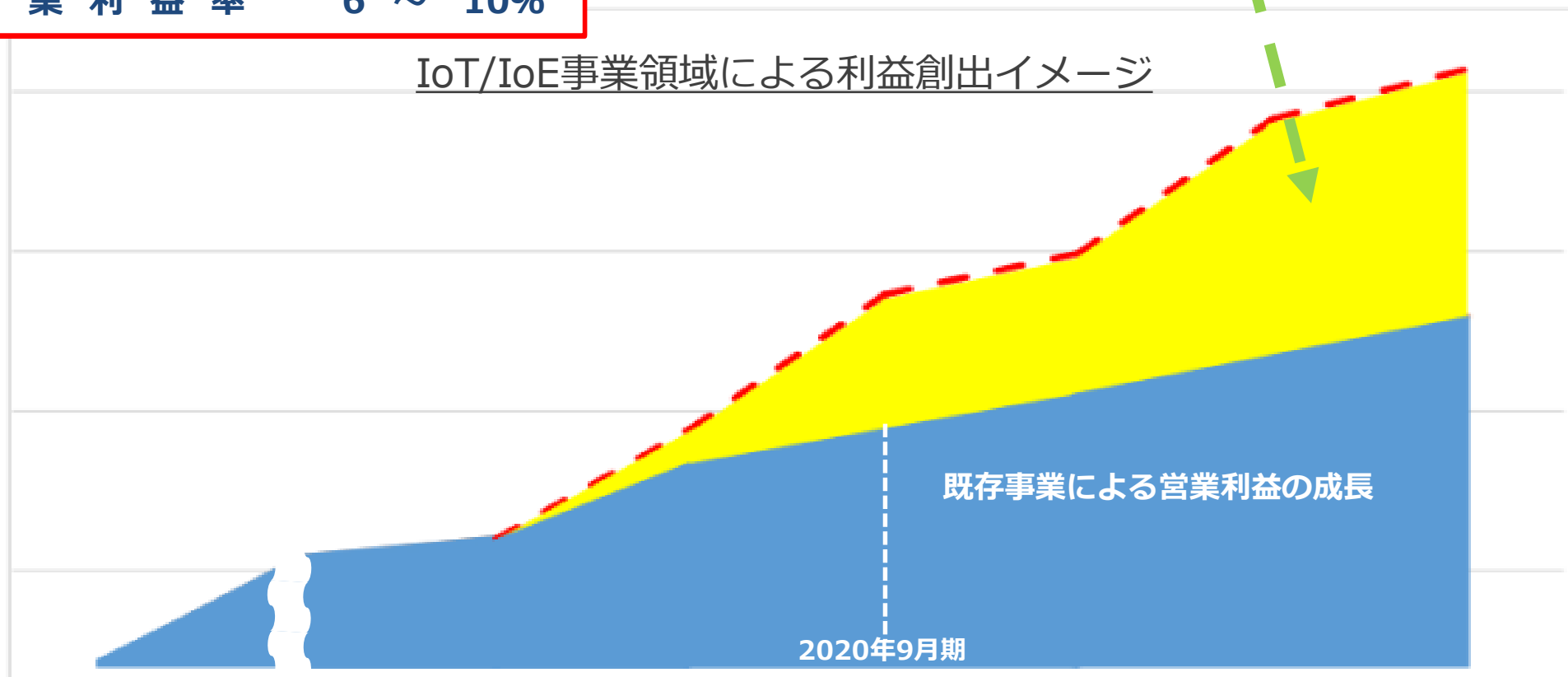


中期ターゲット

売上高成長率	5 ~ 20%
売上総利益率	20 ~ 30%
営業利益率	6 ~ 10%

M&A及び、IoT/IoE事業領域
(V2X、情報セキュリティ、位置情報の活用等)
による増加収益

IoT/IoE事業領域による利益創出イメージ



※ IoT/IoE事業領域による利益創出イメージは、現在織り込んでいないM&A、V2Xユニット、情報セキュリティ、位置情報の活用等の新しい取り組みによる収益を反映させた予想値をグラフ表示しているものです。当該事業の今後の拡大規模や展開スピードにより大きく変動することが予想されるため、当社計画値を表すものではありません。

1. 配当方針

- ・ 安定した配当を維持継続し、業績に裏付けられた更なる配当水準の向上
- ・ 連結配当性向：30%～50%を目安

配当推移

	2013年9月期 (実績) (未上場時)	2014年9月期 (実績) (未上場時)	2015年9月期 (実績)	2016年9月期 (実績)	2017年9月期 (実績)	2018年9月期 (実績)	2019年9月期 (実績)	2020年9月期 (予想)
年間配当金	32.5円	35円	40円 (普通配：35円) (記念配：5円)	50円 (普通配：40円) (記念配：10円)	50円 (普通配：50円)	55円 (普通配：55円)	60円 (普通配：60円)	62円 (普通配：62円)
配当性向	-	-	34.0%	42.1%	41.7%	48.4%	54.1%	50.0%

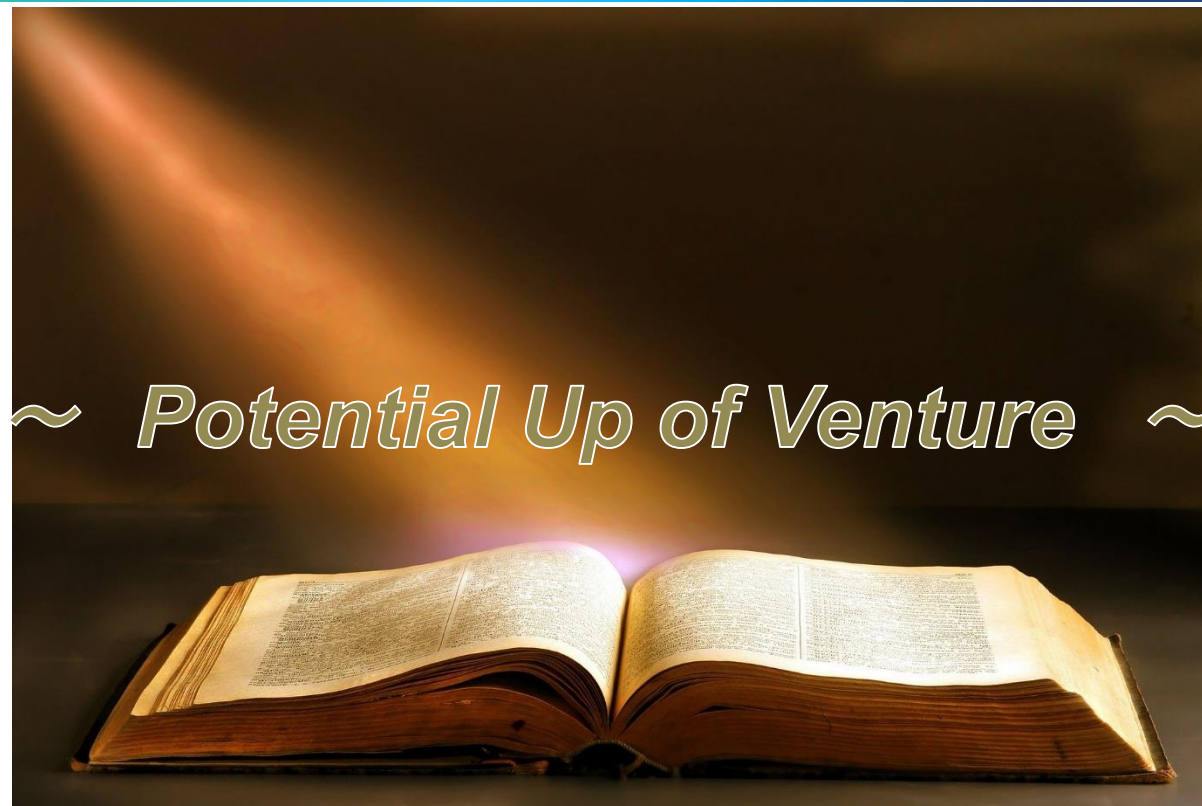
(注) 1.2015年3月23日付で普通株式1株につき100株、2016年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
 2.上記記載の年間配当金は、分割換算後の数値を記載しております。
 3.2019年9月期より、配当方針を変更し、中間配当を実施しております。

※2020年4月1日に1株につき2株の割合での株式分割を予定しておりますが、2020年9月期通期の配当予想に実質的な変更はございません。

2. 自己株式の取得

開示日	取得実績
2018年2月22日	・取得株式総数 46,400株、取得価額総額 149,862,300円
2019年1月10日	・取得株式総数 106,200株、取得価額総額 249,783,700円

4. 決算期末後のリリース



- ① 2020年1月6日 (株)シスウェブの株式譲渡並びにVSE(株)を存続会社とした合併及び商号変更完了
- ② 2020年2月6日 株式分割並びに株式分割に伴う定款の一部変更及び配当予想の修正に関するお知らせ（普通株式1株を2株に分割）

(2020年2月6日付適時開示資料より抜粋)

	年間配当金	
	第2四半期末 円 銭	期 末 円 銭
前 回 予 想 (2019年11月13日公表)	30.00	32.00
今 回 修 正 予 想 (2020年9月期)	30.00 (注) 1	16.00 (注) 2
当 期 実 績	/	
前 期 実 績 (2019年9月期)	30.00	30.00

- (注) 1. 第2四半期（中間）の1株当たり配当金につきましては、株式分割前株式が対象となるため、1株当たり30円00銭の配当金となり、前回予想からの修正はありません。
2. 期末配当金の今回修正予想は、株式分割後の1株当たり配当金額を表示しております。前回予想からの実質的な変更はございません。

パートナー企業としての共創

年 月	経 過 内 容
2018年6月	従来から、当社子会社がシステム開発を行う植物工場事業を通じ協業関係にあった、エレクトロニクス総合商社(株)レスターホールディングス（旧(株)バイテックホールディングス。以下、「レスターHD」）と資本業務提携契約を締結
2018年9月	レスターHD孫会社のVSE(株)株式の一部を当社が譲受し、合併グループ子会社化
2019年5月	レスターHD子会社の(株)インフィニテック株式の一部を当社が譲受し、合併グループ子会社化
2020年1月	(株)シスウェーブとVSE(株)が合併（当社とレスターHDがそれぞれ50%出資）し、(株)プリバテックへ名称変更。（当社連結子会社）

売上高 4 千億円企業である(株)レスターホールディングスと
今後より一層緊密に連携することで、
当社グループにおける
「IT事業のエコシステム」を進化・拡大させる事が可能となる

VSE(株)と(株)シスウェーブが合併、商号を(株)プリバテックへ
PCIホールディングス(株)と(株)レスターホールディングスの傘下企業として
車載・モバイル・メディカル・映像機器の受託開発/ソリューションをご提案



車載

- AV系
 - ・ディスプレイ・オーディオ
 - ・AVN (Audio-Visual Navigation)
- 制御系
 - ・車載Cluster
 - ・ECU (Electronic Control Unit)
 - ・車載Network



監視カメラ

- ・リファレンスデザイン設計
- TV/ウェアラブル用LSI開発
 - ・ソフトウェア部
- カメラ関連素子サポート
 - ・ISP (Image Signal Processor)
 - ・DSP (Digital Signal Processor)



放送

- デジタル放送
 - ・受信機
 - ・チューナーモジュール
 - ・DEMUX、IPDC、Audio Codec



通信

- 無線通信
 - ・Wi-Fi、Wi-Fi Direct
 - ・Bluetooth、BLE
- シリアル通信
 - ・USB、I2C
- 車載ネットワーク
 - ・MOST/CAN



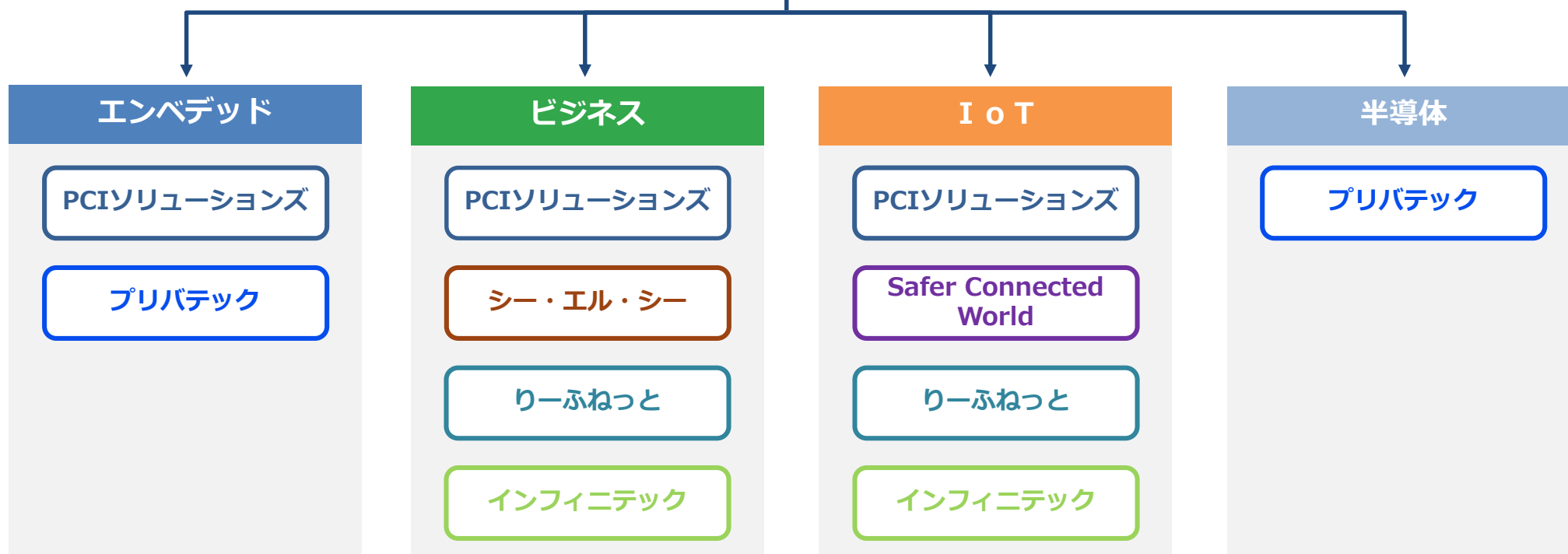
5. 参考資料

- 会社概要 **概要**
- 事業解説 **解説**



商号	PCIホールディングス株式会社 (PCI Holdings, Inc.)	資本金	10億4,623万円 (2019年9月末)
設立	2005年4月	売上高 (連結)	165億4,092万円 (2019年9月期実績)
上場	東京証券取引所市場第一部 (証券コード: 3918)	経常利益 (連結)	8億4,334万円 (2019年9月実績)
所在地	〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目21-19	従業員数 (連結)	1,253名 (2019年9月30日現在)
代表者	代表取締役会長 天野 豊美 代表取締役社長 原口 直道	連結子会社	PCIソリューションズ(株) (株)シー・エル・シー (株)リーふねっと Safer Connected World(株) (株)プリバテック (株)インフィニテック

PCIホールディングス株式会社がグループ事業会社を経営管理することにより事業成長を加速させます



PCIソリューションズ

エンベデッド
ソリューション

ビジネス
ソリューション

IoT/IoE
ソリューション

当社グループの連結売上高の約65%を占めるソフトウェア開発事業会社

参入障壁が高いといわれる自動車産業向け、通信端末、情報家電等の様々な電子機器を制御する組み込み系（エンベデッド）ソフトウェア開発に強み。一般事業法人向けソフトウェア開発においては、幅広い分野でお客様の需要に応えている。システム開発だけでなくIT人材の育成を目的に教育にも力を入れ、システムと人の両面から顧客に最適なソリューションを提供。加えて、組み込み系（エンベデッド）ソフトウェア開発で培った技術を基に、自動車産業関連のIoT/IoEソリューションへも展開している。

シー・エル・シー

ビジネス
ソリューション

ITシステムを支える基盤構築から、データ管理・セキュリティ対策・運用支援まで包括的なソリューションを展開

大型汎用機・周辺機器などのリース・販売・保守サービスを長年にわたって営む。さまざまな業種、お客様に対するソリューションから基づく豊富な経験とノウハウを活かし、ハード・ソフト両面からビジネスを展開。システムの最適化を提案するエキスパートとして事業を推進。

Safer Connected World

IoT/IoE
ソリューション

セキュリティ製品を通じ、IoT/IoE社会の「安心・安全」へ貢献する社内ベンチャー企業

株式会社Blue Planet-worksの製品である「最強そして究極」のサイバーセキュリティ・エンドポイント・プロテクション『AppGuard®』の販売及び関連サービスを提供。IoT/IoE社会のセキュリティまでリードすることを目的に設立。（株）BluePlanet-workusとの合併会社。

リーふねっと

ビジネス
ソリューション

IoT/IoE
ソリューション

お客様が感動するサービスをワンストップで企画、制作、運営まで提供。モバイルに強み。オープンソースソフトウェアを活用した、開発も行う

- ・企業向けスマートフォンサービスの企画・コンサルティング・構築サービス、映画館向けチケット予約・販売・発券システムの構築等のトータルソリューションを提供。2012年には総務省より電話に関する事業者識別番号（0067）の資格を獲得し、通信事業者としての事業も展開。
- ・オープンソースソフトウェアによるITシステム構築需要に応える他、業種特化した自社開発ソフトウェアパッケージを有し、その販売ならびに当該業種の業務知識を活用したコンサルテーションも実施。オープンソースソフトウェアとクラウドのノウハウを活かした再生可能エネルギー関連データ収集IoTデバイスや収集したデータ分析を行う。クラウド運用サービスまで一括して受託するビジネスを担う。

プリバテック

エンベデッド
ソリューション

半導体トータル
ソリューション

半導体技術を強みとしたシステムエンジニアリングカンパニー

半導体やカメラデバイスのサービスサポート、デバイスドライバ～組込みソフト開発、通信・放送系をメインとした電子機器開発まで、ニーズに合わせたサービスを提供。また、LSIの世界を支えるテストエンジニア企業として、テスト、アナログ、画像処理をコアコンピタンスも、LSI設計・テスト・FPGA、システム機器、ソフトウェア開発まで、様々な製品開発に先進のテクノロジーを提供している。

インフィニテック

ビジネス
ソリューション

IoT/IoE
ソリューション

教育機関におけるシステムリーディングカンパニー。文教向けソフトウェア開発、IoT関連自社製品開発に強み

ネットワーク対応AVシステム、セキュリティ関連機器及びアプリケーション、音声・画像認識関連ソリューションの開発・販売を行う事業会社。2019年5月より、（株）レスターホールディングスとの合併会社として当社グループ子会社化。

エンベデッドソリューション事業



ビジネスソリューション事業



IoT/IoEソリューション事業



半導体トータルソリューション事業





さらなる新規事業分野を開拓

当社グループの位置付け

エンベデッドソリューションの開発実績を背景にIoT関連開発を行う。
参入障壁は極めて高い。

半導体チップの受託設計及びテストを行う。自社のテストセンターを所有。
特殊性が高い。

製造会社との深いリレーションによる受注。顧客企業との共同開発も実施。
参入障壁は高い。

主に大手SIerから当社が得意とする分野の開発を受注。
参入障壁は高くない。



IoT / IoEソリューション

- 自動車業界およびエネルギー業界向けIoTソリューションを開発。
- 位置情報の活用、AR/VR、Connected Worldへの貢献

半導体ソリューション

- LSI設計、テスト設計、評価等、半導体開発全般のサービスを提供。半導体開発のイノベーションをトータルサポート。

エンベデッドソリューション

- 自動車、重機・建機、車載器、情報家電、モバイル端末、ネットワーク機器などの組み込みシステムにかかるソフトウェアを開発。

ビジネスソリューション

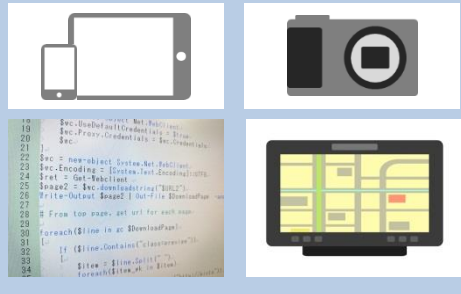
- 金融、製造業、交通、放送等の幅広い業種へのITシステムを構築。
- ビジネスアプリケーションの開発およびその付随業務を展開。

成長分野

シナジー効果

収益基盤 (安定成長)

高い技術力の源泉

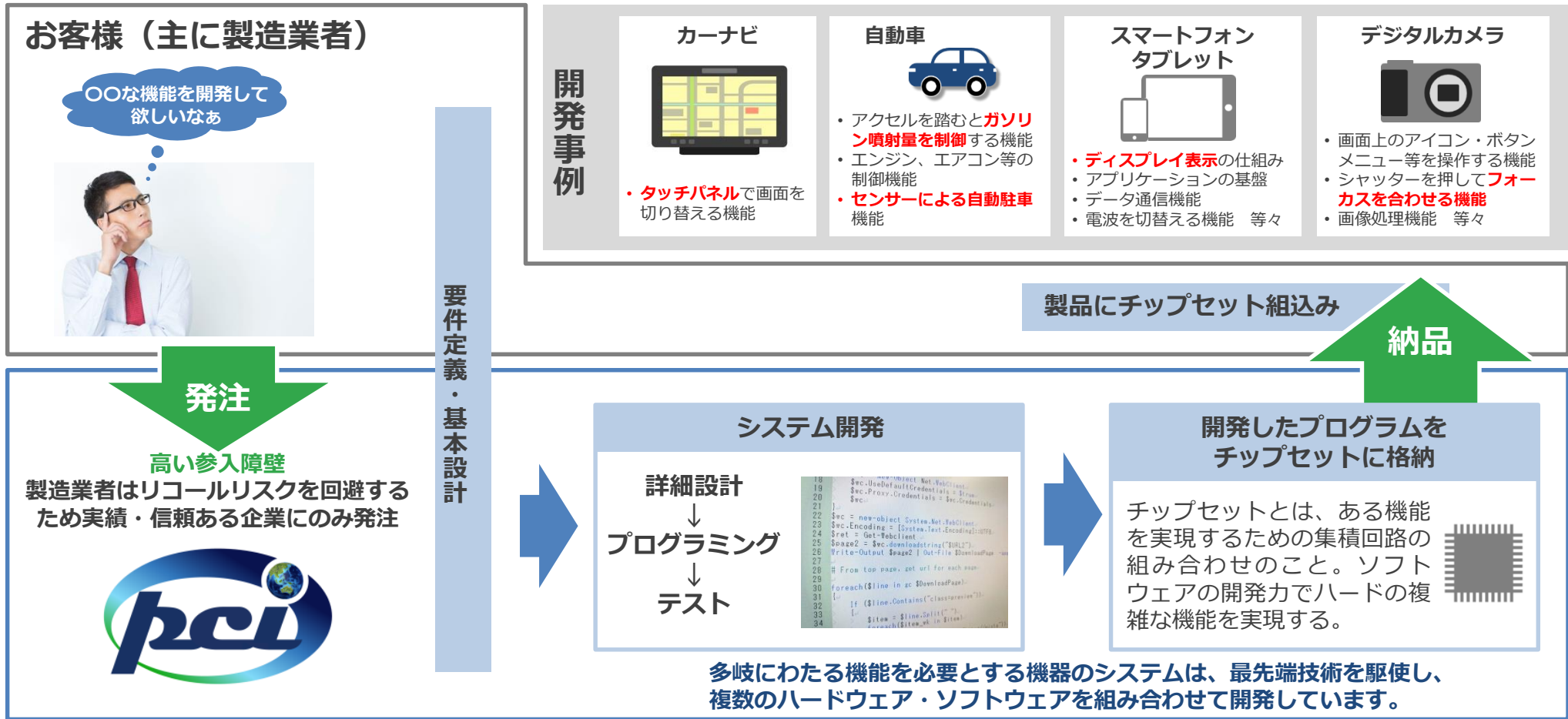


PCIホールディングスの事業基盤

技術力 「ソフトウェア開発力」 × 「アプリケーション開発力」 × 「通信・組み込み・半導体」

知的資本 「豊富な開発実績」 × 「優良な顧客」 × 「モラルの高い社員」 × 「プロジェクト管理体制」

- ・エンベデッドシステム（組み込みシステム）は、スマートフォンや自動車、家庭用電子機器・医療機器・産業用機器等、「制御」を必要とするあらゆる製品に内蔵されているコンピュータシステムです。
- ・身の回りの多様化する様々な製品に、当社グループの最先端技術が数多く活用されています。
- ・このエンベデッドシステム開発は当社が最も得意としている分野であり、当開発で培った通信制御技術・組み込み制御技術を応用したものが、IoT/IoEソリューション事業にも活かされています。



※上記は一例です。上記以外にも当社グループは幅広い技術でお客様のニーズにお応えしております。

「AppGuard®」テクノロジーについて

<特徴>

- ① 未知のマルウェアをブロック、② 完全防御、③ 20年以上破られたことのない実績

<採用実績>

米国・州政府関連機関、米国特殊任務関連機関等

<主要株主>

ANAホールディングス株式会社、第一生命保険株式会社、損害保険ジャパン日本興亜株式会社、株式会社電通、株式会社電通国際情報サービス、大興電子通信株式会社、**PCIホールディングス株式会社**、株式会社フェイス、株式会社ジェイティービー、吉本興業株式会社、他

PCにインストールするだけ

- ✓ 不正な行為を未然に阻止
- ✓ 未知、ゼロデイ、ランサムウェア等の最新攻撃から守る
- ✓ システムの安全性を確保
- ✓ 運用コストの削減

軽くて軽快な動作

- ✓ エンジンは、1MB以下
- ✓ スキャン無し、軽快動作
- ✓ 業務への影響無し
- ✓ プロセッサへの負荷が最小

アップデート不要

- ✓ 定義ファイルのダウンロード不要
- ✓ AIエンジンのアップデート不要
- ✓ 常時ネットワーク接続不要
- ✓ 人に依存しない



PC



サーバー



POS端末



ATM

出典：株式会社Blue Planet-works事業説明資料より抜粋



IR Movies

本資料のいかなる情報も、弊社株式購入や売却などを勧誘するものではありません。本資料に記載されている業績予想及び将来の予測等に関する記述は、資料作成時点での入手された情報に基づき弊社で判断した予想であり 潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いかねますのでご承知おき下さい。

お問い合わせ先

PCI ホールディングス株式会社 事業企画室

E-mail ir@pci-h.co.jp



IR Movies

Copyright (C) 2020 PCI Holdings, INC. All Rights Reserved.